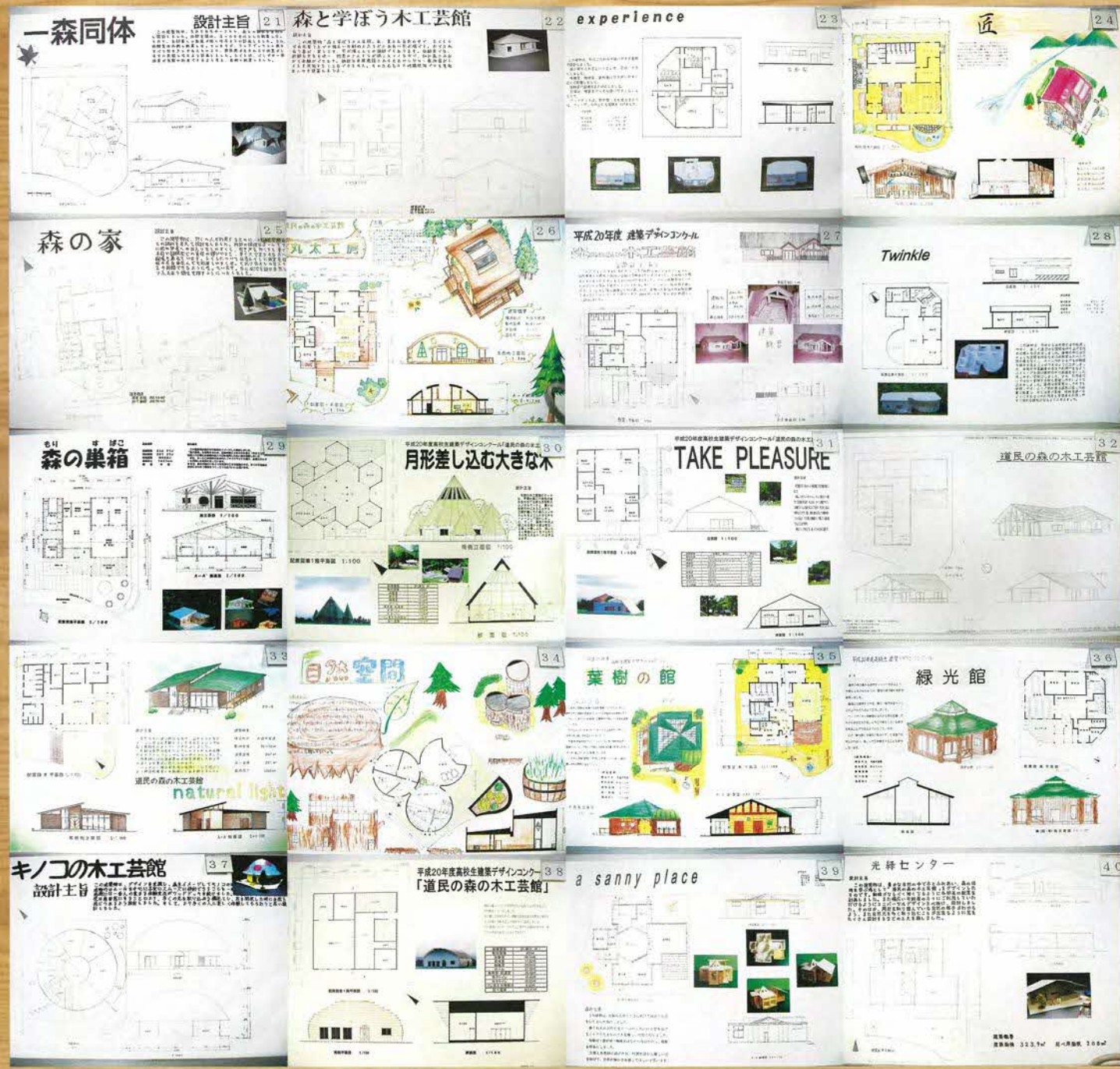


ARCHITECTURE
DESIGN
CONTEST
2008

平成20年度

高校生建築デザインコンクール

課題 / 「道民の森の木工芸館」



主催

北海道 (社)日本建築家協会北海道支部 (社)北海道建築士事務所協会 (社)北海道建築士会
北海道建設部建築局ホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成20年12月

ARCHITECTURE DESIGN CONTEST 2008

はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上並びに気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

北海道では、平成8年度から建物を所管する部局の協力を得ながら、「高校生建築デザインコンクール」を実施し、道内の工業高校生（建築系学科）を対象に夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を実施設計に取り入れ、道民に愛され親しまれる施設となるよう建設を進めています。

さらに、平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築士事務所協会、(社)北海道建築士会との共催事業としています。

将来建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

今回募集した課題につきましては、道民の森月形地区に整備を予定している「木工芸館」のデザインの提案であり、8校102人から55作品の応募がありました。

建物をデザインするうえで、周辺の自然環境との調和など難しい課題ではありますが、高校生らしい創造性にあふれたレベルの高い作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品が選定されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

北海道においては、この度選定されました最優秀作品の設計趣旨やデザインを平成21年度以降、実施設計に反映し、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大な御協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、御応募いただいた高校生の皆さんには、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会で御活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成20年12月

北海道建設部長 猪俣茂樹

平成20年度

高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案趣旨は、北海道において、実施設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課題 「道民の森の木工芸館」
 - (1) 機能的でユニバーサルデザインなどに配慮した施設とします。
 - (2) 維持管理がしやすい施設とします。
 - (3) 自然エネルギーなどを積極的に取り入れた施設とします。
 - (4) 景観などに配慮した施設とします。
 - (5) 道産木材の構造材や内・外装材等への積極的に活用した施設とします。
- 2 応募資格 道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判（420mm×594mm）横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - ① 設計主旨
 - ② 配置図・平面図：1/50～1/100
 - ③ 断面図：1/50～1/100
 - ④ 立面図：1/50～1/100
 - ⑤ スケッチ
 - ⑥ 建築概要
- 4 応募作品 55作品 102名 応募
- 5 入選作品 最優秀作品：1作品 ・ 優秀作品：3作品 ・ 佳作：4作品
- 6 経過

募集要項配付	平成20年6月3日
作品受付	平成20年8月25日～平成20年9月8日
選定委員会	平成20年10月17日
作品展	平成21年1月8日～平成21年1月9日
- 7 選定委員

藤島 喬	(社)日本建築家協会北海道支部対外交流委員会委員長
石井 清行	(社)北海道建築士事務所協会副会長
佐々木正行	(社)北海道建築士会まちづくり委員会委員
田端 明雄	北海道教育庁学校教育局高校教育課長
高橋 倫人	北海道水産林務部森林環境局森林活用課長
鈴木 隆信	北海道石狩森づくりセンター所長
高橋 進一	北海道建設部建築局建築整備課長



審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の工業高等学校（建築系学科）に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めようとするものです。今年度も、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。選定委員会を代表して、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

今回の課題は、道民の森月形地区に整備を予定している「道民の森の木工芸館」で、子供たちが木とふれあう機会の創設や、森林及び木材を中心とした循環型社会の形成への普及など、木材を利用し、学ぶ場として、北海道が整備する施設として相応しい提案を募集しましたところ、8校102人から55作品の応募がありました。

「道民の森の木工芸館」は、豊かな自然の中で木とふれあい、森の活用を学ぶ場として、機能的で維持管理がしやすく、また、道産木材の構造材や内・外装材等を積極的に活用し、景観等にも配慮した施設が要求されます。今回も数多くの応募があり、建築を志す高校生の素直で若々しく、発想が豊かな作品や、配置計画などを工夫して使い易く、維持管理しやすい作品が多く、将来を期待し、審査をさせていただきました。

- 審査にあたっては
- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
 - ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
 - ・立地条件を活かしているか。
 - ・実施設計に反映させ得るデザインであるか。

と言った観点から、厳正に審査を重ねた結果、最優秀作品 1作品、優秀作品 3作品、佳作 4作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性に溢れたデザイン提案が数多くありました。今回応募いただきました皆様の今後の御活躍を期待いたします。

平成20年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 高橋 進一

平成20年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞 (1作品)

小林 直智 (北海道小樽工業高等学校 3年)
中川 龍一 (北海道小樽工業高等学校 3年)

優秀作品賞 (3作品)

幸田 亮太 (北海道美唄工業高等学校 3年)
高田 卓也 (北海道美唄工業高等学校 3年)
壽崎 勇騎 (北海道美唄工業高等学校 3年)

藤田 楊子 (北海道函館工業高等学校 2年)
上村 将志 (北海道札幌工業高等学校 2年)

佳作 (4作品)

森岡 初音 (北海道札幌工業高等学校 3年)
高塚 里菜 (北海道札幌工業高等学校 3年)
田口 昌実 (北海道札幌工業高等学校 3年)
南木 彩花 (北海道函館工業高等学校 3年)
岡山 僚祐 (北海道小樽工業高等学校 3年)
伊土 郁宏 (北海道小樽工業高等学校 3年)

入賞作品

最優秀
作品賞

北海道小樽工業高等学校

小林 直智 [3年]
中川 龍一 [3年]

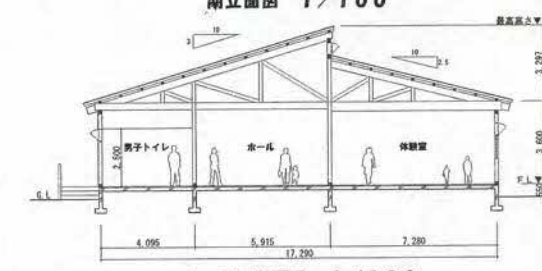
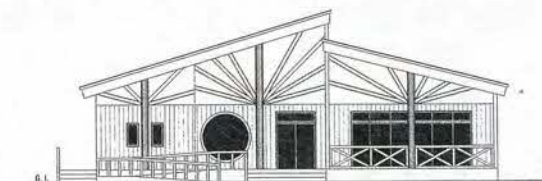
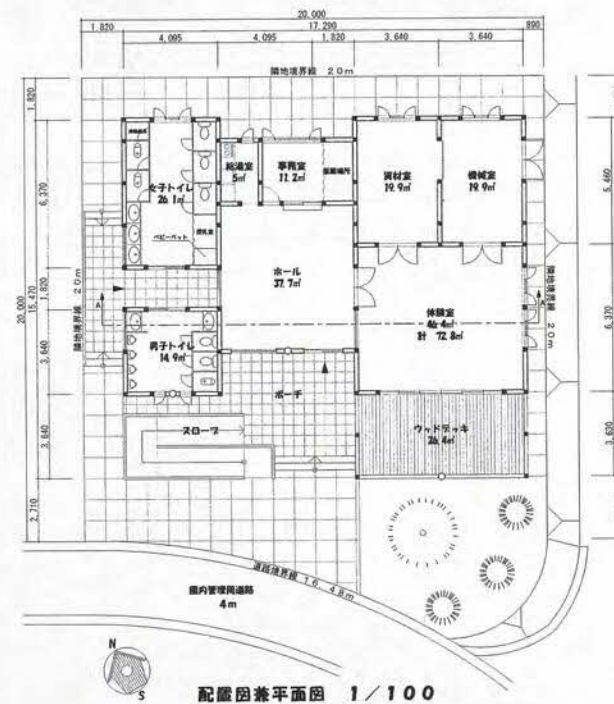
もりすほこ 森の巣箱

建築概要

建築面積 230.97㎡
延床面積 207.37㎡
敷地面積 約400㎡
最高高さ 7.447m
構造 木造

設計趣旨

この建築物は森の中の巣箱をイメージして設計しました。「森の巣箱」を表現するため、正面外観に3本の木を書き(木が3つで森)正面入り口横には巣箱の出入り口を表現した丸い窓を設置しました。また、ホールには採光のためのハイサイドライトを設け、自然エネルギーを利用した設計になっています。まるで、森の木陰にいるような気持ちになる建物の中で、多くの子供達が、自然にふれあう機会をつくってほしいと思います。



森の巣箱

設計趣旨

この建築物は森の中の巣箱をイメージして設計しました。「森の巣箱」を表現するため、正面外観に3本の木を書き(木が3つで森)正面入り口横には巣箱の出入り口を表現した丸い窓を設置しました。また、ホールには採光のためのハイサイドライトを設け、自然エネルギーを利用した設計になっています。まるで、森の木陰にいるような気持ちになる建物の中で、多くの子供達が、自然にふれあう機会をつくってほしいと思います。

審査講評

敷地全体を上手に活用し、巣箱をイメージした建物(外観)で、周りの景観にうまくとけ込んでいる。ホールを中心とした平面計画はシンプルだが、室内の動線計画がとても考慮されていて使い易そうである。また、ハイサイドライトからの採光、勾配屋根など、細かな点にも配慮され機能的であり、デザインの良さ、完成度の高さから、直ぐに実施設計に反映できそうな作品として、特に高く評価されました。

入賞作品

優秀
作品賞

北海道美唄工業高等学校

幸田 亮太 [3年]
高田 卓也 [3年]
壽崎 勇騎 [3年]

平成20年度 高校生建築デザインコンクール
月形「道民の森の木芸館」



アウル

設計趣旨

この建物のモチーフは、道民の森に相応しい森の番人である「ふくろう [英: アウル]」にしました。翼で手招きをし、来客者は常にふくろうの翼の中にいるという感じを出しています。
また、ふくろうの目は月形の「月」をイメージ、正面の4本の列柱は爪をイメージしています。
そして、豪雪地帯であることから屋根は、勾配屋根を採用したほか、採光や換気を考え、一部にハイサイドライトを設けています。

審査講評

「ふくろう」の翼に抱かれているというデザインの表現が、高校生らしい発想で、とても素晴らしい。
体験室を中心とした平面計画ではあるが、全体的にまとまっていて良い。
また、採光のためハイサイドライトを設け、豪雪地帯であることから勾配屋根を採用しているなどの工夫がある作品として高く評価されました。

優秀
作品賞

北海道函館工業高等学校

藤田 楊子 [2年]



丸太工房

設計趣旨

北海道の大地に横たわる丸太をイメージしました。
柔らかいカーブを描く屋根で、丸太の断面を表現し、円形と三角形の窓で、広葉樹と針葉樹が共存する北海道の森の姿を表現しました。
また、ホールは月形にちなんだ、満月と三日月の形をしています。
ウッドデッキには、車椅子利用者でも簡単に利用できるようにスロープをつけ、資材の搬入が楽なように、外から直接入れる造りになっています。
ホールに取り付けられた舞台では、木工芸館で作られた作品の展示や販売が出来るようになっています。

審査講評

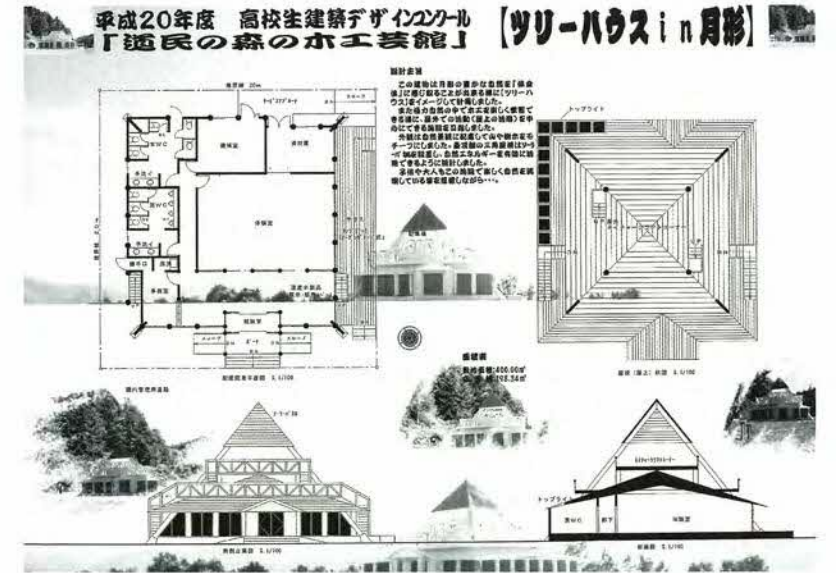
丸太をイメージした建物(外観)には暖かみを感じられ、丁寧なデザインであり、高校生らしい作品である。
また、シンプルではあるが、平面計画は機能的で使い易そうな作品として高く評価されました。

入賞作品

優秀
作品賞

北海道札幌工業高等学校

上村 将志 [2年]



ツリーハウスin月影

設計趣旨

この建物は月形の豊かな自然を「体全体」に感じ取ることが出来るように【ツリーハウス】をイメージして計画しました。
また、極力自然の中で木工を楽しく学習出来るように、屋外での活動(屋上の活用)を中心出来る施設を目指しました。
外観は自然景観に配慮して、山や樹木をモチーフにしました。最頂部の三角屋根はソーラーパネルを設置し、自然エネルギーを有効に活用出来るように設計しました。
子供や大人もこの施設で、楽しく自然を満喫している姿を想像しながら…。

審査講評

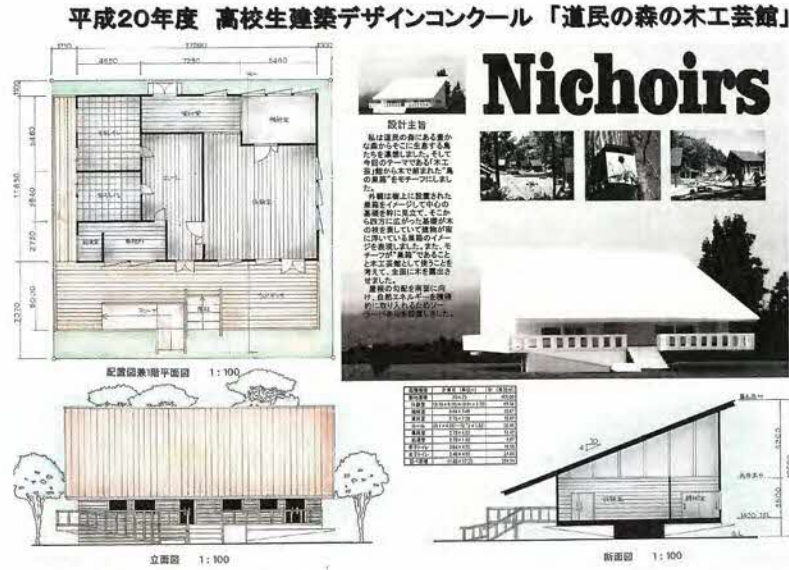
ツリーハウスのとんがり屋根が特徴的で、シンボル性が感じられる。
また、デザイン的にも周りの景観に合っており、屋上を設計に取り入れ活用する発想が高校生らしく、また創造性が豊かで、ユニークであることが高く評価されました。



入賞作品

佳作

北海道札幌工業高等学校
森岡 初音 [3年]
高塚 里菜 [3年]



Nichoirs

設計趣旨

私は、道民の森にある豊かな森から、そこに生息する鳥たちを連想しました。そして、今回のテーマである「木工芸館」から木で組まれた「鳥の巣箱」をモチーフにしました。外観は樹上に設置された巣箱をイメージして、中心の基礎を幹に見立て、そこから四方に広がった基礎が木の枝を表していて、建物宙に浮いている巣箱のイメージを表現しました。また、モチーフが「巣箱」であることと、木工芸館として使うことを考えて、全面に木を露出させました。屋根の勾配を南面に向け、自然エネルギーを積極的に取り入れるため、ソーラーパネルを設置しました。

審査講評

建物（外観）のデザインが高校生らしく、周りの景色にとけ込んでいる。また、豪雪地帯であることから、屋根の勾配を南面に向け、雪解けに配慮していることや、ソーラーパネルを取付けるため屋根勾配に配慮するなど、創意工夫がされているところが評価されました。

佳作

北海道札幌工業高等学校
田口 昌実 [3年]



BigTree ~森の民が集う場所~

設計趣旨

私は、木工芸館が、この道民の森のシンボルとなるようにと、大きな大木をデザインしました。3枚の大きな屋根の間からは、柔らかな日差しが木の優しさと共に子供達だけではなく、大人も安らげる空間となるように設計しました。そして、この建物は人々を優しく包み、そのひとときを心温まる思い出となる森の大木です。

審査講評

軸線を南北軸に設定し、明快な平面計画と特徴的な外観が高校生らしい発想で、とてもユニークなところが評価されました。

入賞作品

佳作

北海道函館工業高等学校
南木 彩花 [3年]



道民の森の木工芸館 natural light

設計趣旨

自然の中に建つ施設なので、山やテントをイメージし、周りの景観とマッチするようシンプルな三角形をモチーフにデザインしました。外観は、自然の光をたくさん取り入れられる様、窓を大きくとり、シンプルなデザインにしました。内装材には、北海道産の木材を使用しており、木の温もりが身近に感じられます。バンガロー宿泊者専用の夜間トイレも設けており、施設利用者との動線にも気を配りました。

審査講評

屋根の形状はシンプルだが、周りの景観にうまくとけ込んでいる。体験室、資材室、機械室などの動線が良く機能的であり、現実的で使い易いところが評価されました。

佳作

北海道小樽工業高等学校
岡山 僚祐 [3年]
伊土 郁宏 [3年]



我が家

設計趣旨

森の中に降り注ぐ太陽の光が、建物の隅々まで射し込むように設計しながら、開口部のデザインでも、建物に太陽の光が射し込んでいる様子を表現しました。また、維持管理、機能面を考慮して出来るだけシンプルな平面計画となっているので、とても利用しやすい建物となっています。この建物を利用する多くの人々が安全、快適に過ごすことが出来る事でしょう。

審査講評

大きい屋根に、太陽の光が射し込んでいる様子を表現した窓のデザインが、高校生らしい発想で、アイデアがとてもユニークである。配置計画については、シンプルだが、体験室などの配置が機能的であり、使い易いところが評価されました。

平成20年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

札幌工業高等学校

- 上村 将志 [2年]
- 片野登士晃 [3年]
- 杉中奈々美 [3年]
- 住吉 悠介 [3年]

- 高橋 奏人 [3年]
- 柚原 瑛 [3年]
- 2名グループ

- 今野 陽介 [3年]
- 浅岡 秀明 [3年]
- 田中 洋平 [3年]
- 3名グループ

函館工業高等学校

- 阿部 直美 [3年]
- 橋 亜莉沙 [3年]
- 南木 彩花 [3年]
- 石附 里美 [2年]
- 派谷 エリ [2年]
- 伊藤 佳樹 [2年]
- 足達 瑞季 [2年]
- 原田 築 [2年]

- 外崎 未矩 [2年]
- 深江 里歩 [2年]
- 高藤奈々華 [2年]
- 水上 友太 [2年]
- 南木 建 [2年]
- 藤田 楊子 [2年]
- 島中 樹奈 [2年]
- 府金 麻由 [2年]

小樽工業高等学校

- 阿部亜由真 [2年]
- 奥田 里菜 [2年]
- 森越 真理 [2年]
- 3名グループ

- 小林 直智 [3年]
- 中川 龍一 [3年]
- 2名グループ

- 神田 沙織 [2年]
- 山田恵梨香 [2年]
- 2名グループ

- 小野 翔平 [3年]
- 佐久間昌平 [3年]
- 2名グループ

- 入江 基紀 [2年]
- 日下 卓耶 [2年]
- 本井 雅斗 [2年]
- 3名グループ

- 廣田 和之 [3年]
- 保木 大 [3年]
- 霜鳥 亮太 [3年]
- 3名グループ

- 葛西 志保 [3年]
- 雨野 由季 [3年]
- 2名グループ

- 岡山 僚祐 [3年]
- 伊土 郁宏 [3年]
- 2名グループ

美唄工業高等学校

- 幸田 亮太 [3年]
- 高田 卓也 [3年]
- 壽崎 勇騎 [3年]
- 3名グループ

名寄光凌高等学校

- 合掌 知絵 [3年]
- 七條 典久 [3年]
- 垣内結里香 [3年]
- 樋口奈々加 [3年]

留萌千望高等学校

- 小林 雅人 [2年]
- 門脇 啓悟 [2年]
- 2名グループ

帯広工業高等学校

- 古川 諒一 [3年]
- 菊川 千尋 [3年]
- 高橋 亮汰 [1年]
- 田澤 真怜 [1年]
- 2名グループ

苫小牧工業高等学校

- 川村 隼也 [3年]
- 中田 皓大 [3年]
- 三浦 勇貴 [3年]
- 3名グループ

- 松村 恭兵 [3年]
- 菅原 克敏 [3年]
- 鈴木 拓哉 [3年]
- 3名グループ

- 本多 純也 [3年]
- 日下 貴文 [3年]
- 工藤 将希 [3年]
- 3名グループ

- 佐々木久光 [3年]
- 佐々木翔平 [3年]
- 中村 直斗 [3年]
- 3名グループ

- 魚波 翔太 [3年]
- 江刺家一貴 [3年]
- 逢坂 幸児 [3年]
- 3名グループ

- 青山 拓樹 [3年]
- 菊谷 駿貴 [3年]
- 平吹 混太 [3年]
- 3名グループ

- 三条 拓 [3年]
- 福島 僚太 [3年]
- 堀切 直輝 [3年]
- 3名グループ

応募55作品、参加人数102名(グループ28作品)

高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数
札幌工業高等学校	9
函館工業高等学校	16
小樽工業高等学校	8
美唄工業高等学校	1
旭川工業高等学校	0
名寄光凌高等学校	4
留萌千望高等学校	1
釧路工業高等学校	0
帯広工業高等学校	3
室蘭工業高等学校	0
苫小牧工業高等学校	13
北見工業高等学校	0
旭川実業高等学校	0
計	55



ARCHITECTURE DESIGN
CONTEST 2008

